基本計画　モデルプロジェクト再配置計画（大里地域）

H29.11策定
R4.1.20更新

1　公共施設マネジメント方針（抜粋）

（１）公共施設の現状と課題

◆五市対等合併の経緯により、人口1人当りの公共施設保有量は、政令市の中で最大（政令市平均の約1.5倍）

◆昭和40～50年代に多くの公共施設を整備しており、近い将来、老朽化による大規模改修や更新が集中的に必要となるが、本市の財政では対応が困難

⇒対策を何も講じなかった場合、老朽施設の利用制限が全市的に発生するため、早急な公共施設マネジメントの取組みが必要**（現在保有する全施設の維持は困難）**

（２）公共施設マネジメント方針

◆取組みの視点

○総量抑制（保有量の縮減）

・市民の利用状況に留意しながら、市全体の公共施設の保有量の縮減に取り組む。

○資産の有効活用

・複合化や廃止等によって生じた余剰地は、民間への売却や賃貸を積極的に進める。

◆取組み目標

『少なくとも、「今後40年間で保有量を約20%削減する」 ことを目指す』

⇒公共施設マネジメントの先導的な事例となるモデルプロジェクト再配置計画は、この方針を具体化する必要があります。

2　公共施設（大里地域）の現状と課題

◆廃止後10年以上が経過し、有効活用が図られていない旧門司競輪場について、跡地活用が望まれている。（活用可能な用地約4.8ha）

◆旧門司競輪場の周辺には、門司区役所大里出張所や門司生涯学習センター大里分館（旧東部勤労婦人センター）、門司体育館などのスポーツ施設など公共施設が点在しており、これらの施設の更新時期は10年以降先を見込んでいる。

3　再配置の考え方

旧門司競輪場の跡地に、公共施設を集約し、複合化・多機能化することで、市民サービスの効率化及び公共施設に係るコスト縮減を図るとともに、魅力的な公園や居住空間を創出

【旧門司競輪場跡地】

◆旧門司競輪場跡地を、「スポーツ施設ゾーン」、「公園広場ゾーン」、「居住ゾーン」と位置付け。「居住ゾーン」の整備は、民間事業を基本とする。

◆門司陸上競技場は、役割を他の陸上競技場（鞘ヶ谷・本城）に移して廃止

【複合公共施設】

◆「スポーツ施設ゾーン」に、周辺スポーツ施設の機能を集約する複合公共施設を整備。集約することで、床面積の縮減、整備・維持・管理費用の節減を図る。

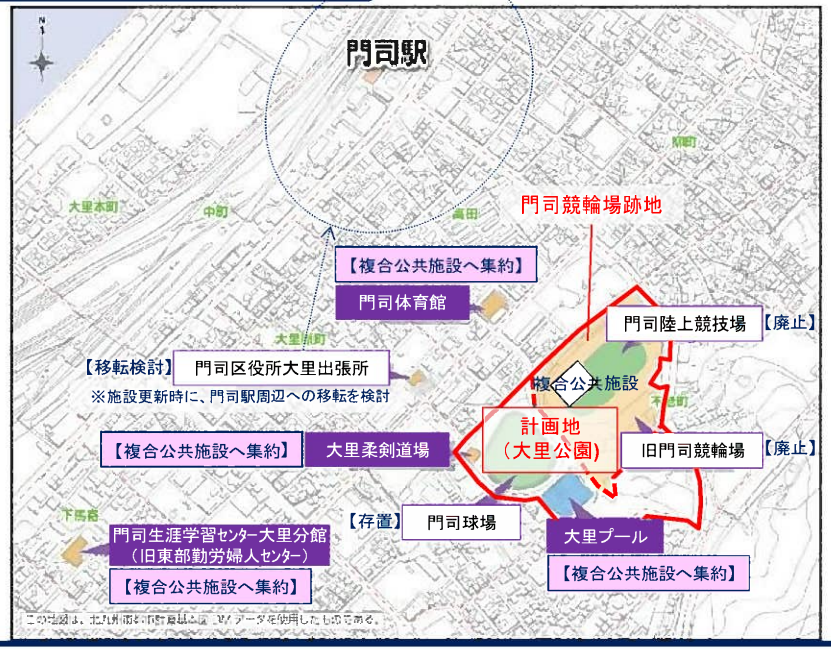
◆利用状況に対応した有料駐車場を整備。

◆公共施設の集約は、既存の周辺スポーツ施設の更新時期が到来した時点とし、それまでの間、スポーツ施設ゾーンは、暫定的に市民が利用できる広場として活用

【その他】

◆門司区役所大里出張所は、建物の更新時に、より交通利便性の高い門司駅周辺への移転を検討

4　施設配置図



5　土地利用のゾーニング計画

問合せ先　北九州市/財政・変革局　市政変革推進室　TEL(093)582-2076

6 再配置計画

【公共施設集約化の対象施設と延床面積の変化】

※端数処理のため合計は合いません。

現況施設	現状	再配置計画（複合公共施設）	主な理由
市民利用施設	5,800㎡	4,600㎡	・体育室は必要な広さを確保し一体化により縮減 ・柔剣道場は多目的利用により縮減 ・生涯学習センター大里分館(旧勤労婦人センター)の体育室などは、スポーツ施設との複合化
門司体育館	2,500㎡		
大里柔剣道場	1,200㎡		
門司生涯学習センター大里分館（旧東部勤労婦人センター）	2,000㎡		
大里プール	200㎡	2,500㎡	・屋内プールとするため増
計	5,900㎡	7,100㎡	

【複合公共施設のイメージ】

※この図面はイメージです。具体的な検討は、門司区の各施設の方向性等を踏まえ、今後実施する予定です。

整備イメージ（完成形）

※図面はイメージです。実際とは多少異なる場合があります。

7 イメージパース

※画像はイメージです。実際とは異なる場合があります。（居住ゾーンは、民間事業による住宅開発を行います。）

8 再配置のスケジュール

施設	項目	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年代（R元～10年度） 前期 R元年度 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	中期 R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	後期 R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
既存施設	大里地域のニーズ受け入れ態勢の整備													
競輪場跡地	競輪場の解体・撤去													
	基本計画策定													
公園広場ゾーン	公園の設計・整備			設計	整備									
スポーツ施設ゾーン	広場として暫定利用						暫定開放							
	集約・再配置の検討								検討					
〈複合公共施設〉	集約・再配置の実施											施設整備		
居住ゾーン	住宅の計画・整備		計画	事業者公募			整備							

R5年度末 公園広場ゾーンの完成

R3年度～ 暫定広場の開放 ※複合公共施設の整備箇所

R10年度末 複合公共施設の完成

R5年度末 居住ゾーンの完成